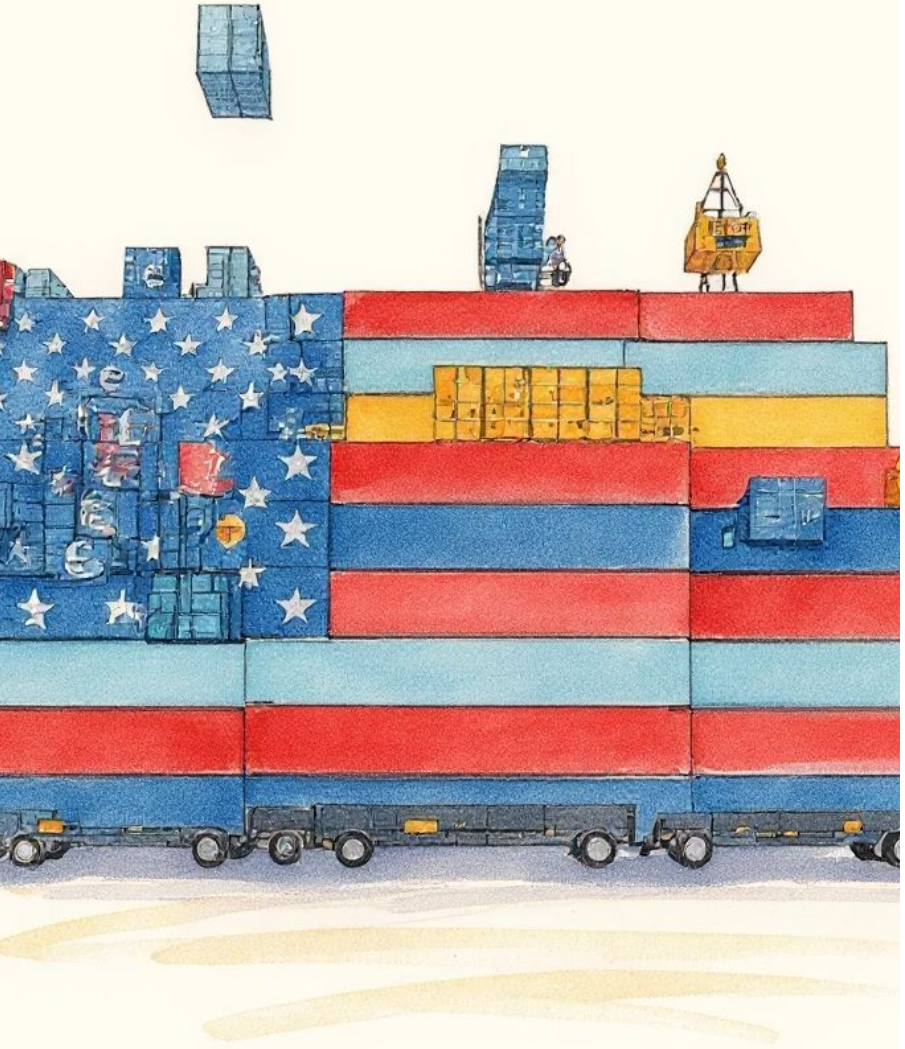


トランプ関税の多角的分析

米国経済と株式市場への影響シナリオ



エグゼクティブ・サマリー

2025年に再導入されたトランプ関税は、単なる貿易政策の変更ではなく、米国の経済構造と国際関係の根本的な転換点となる可能性を秘めています。

短期的影響

輸入物価の上昇を通じたインフレ圧力と、政策の不確実性に起因する市場のボラティリティとして顕在化

中長期的帰結

主要貿易相手国との交渉の成否と、関税を誘因とする国内産業の適応能力に大きく左右される

関税の四本柱構造

トランプ関税は複数の異なる目的と対象を持つ関税が重層的に組み合わさった複雑な体系をなしています。

01

ベースライン関税

ほぼ全ての国・地域からの輸入品に対して一律10%を課す基礎的な関税

02

相互関税

貿易相手国の関税率や非関税障壁を総合的に勘案し、それに見合う水準の関税を課す

03

国別関税

特定の国を標的とした関税で、安全保障や外交政策上の目的も反映

04

品目別関税

特定の産業を保護、国内生産を促進する目的で特定品目に高い関税を課す

短期的影響：最楽観シナリオ

交渉による緊張緩和

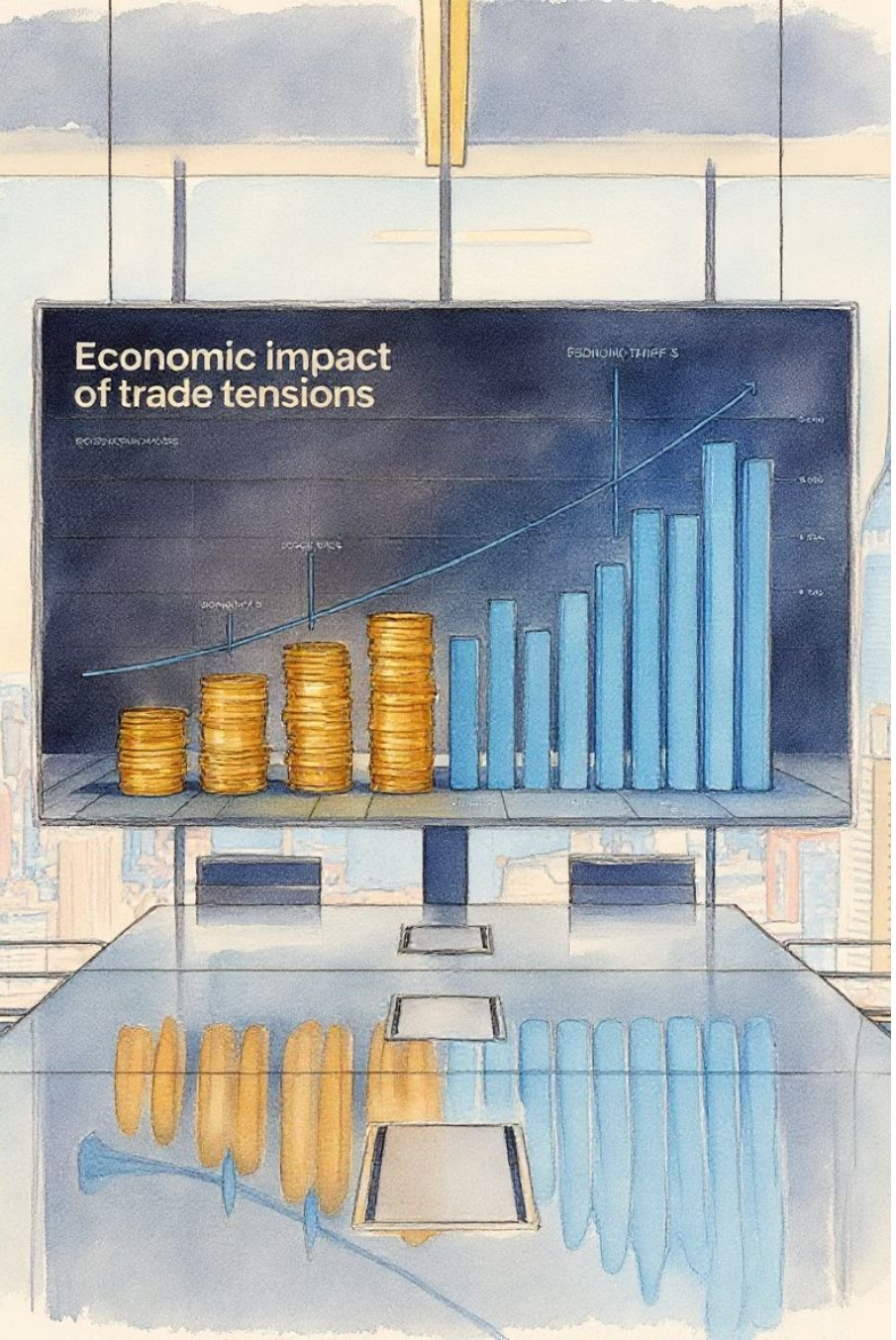
関税が交渉のテコとして効果的に機能し、主要な貿易相手国との間で早期に緊張緩和が実現するケースです。

インフレ圧力の緩和

輸入物価の急騰が回避され、消費者物価への押し上げ効果は年率+0.5%未満に留まります。FRBは景気支援的な金融政策を検討する余地を維持できます。



個人消費の安定と企業活動の正常化により、サプライチェーンの寸断という最悪の事態が回避されます。



短期的影響：最悪シナリオ

インフレショックと供給網の寸断

外交交渉が決裂し、各国との間で報復関税の応酬が激化・長期化するケースです。

1.3%

CPI押し上げ

消費者物価上昇率を年率で最大1.3%ポイント押し上げる可能性

145%

異常な税率

中国からの輸入品に課される合計関税率が一時的に到達

FRBは景気後退リスクが高まる中でも、急騰するインフレを抑制するために追加利上げを迫られる可能性があります。

中長期的展望：製造業の再生

最楽観シナリオ：国内製造業の再生とサプライチェーン強靭化

関税政策が意図した通りに機能し、米国内の生産基盤が強化されるケースです。

国内生産と雇用の増加

過去の対中関税が10の主要産業で国内生産額を1.2%から7.5%増加させた実績があります。

サプライチェーンの再構築

中国への過度な依存から脱却し、地政学的リスクに対してより強靭なサプライチェーンを構築します。

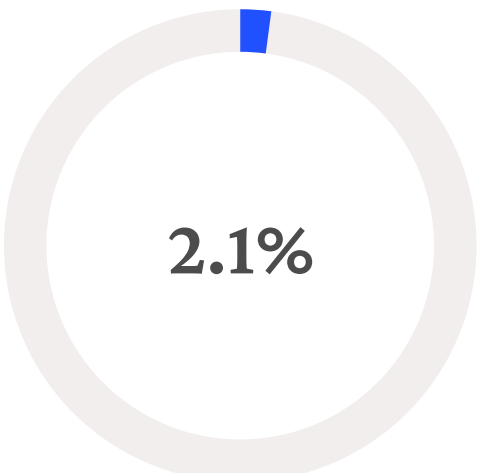
貿易収支の改善

輸入の減少と国内生産の増加により、長年の課題である貿易赤字が構造的に縮小します。

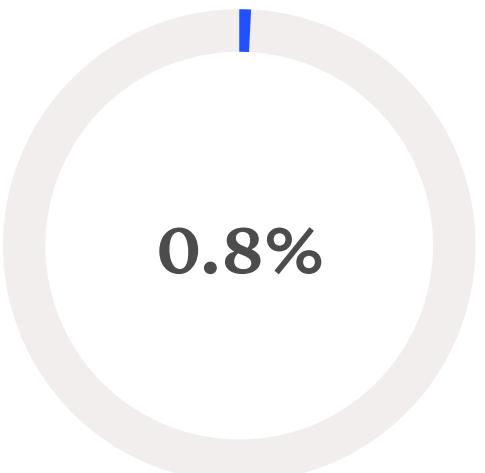
中長期的展望：スタグフレーション

最悪シナリオ：貿易戦争の慢性化

保護主義的な政策が世界中に連鎖し、グローバル経済が分断され、米国経済が長期的な停滞に陥るケースです。



実質GDPがベースラインから押し下げられる予測値（2026年まで）



報復措置を考慮しない段階でのGDP減少試算

高いインフレ率と高い失業率が併存する典型的なスタグフレーションが経済に定着するリスクがあります。

株式市場への影響分析

トランプ関税は企業収益、金利、投資家心理という株式価値を決定する3つの主要な変数に同時に影響を及ぼします。

セクター	短期影響	中長期影響	主要因子
自動車・部品	大幅変動	構造変化	品目別関税の行方
情報技術	反発/下落	勝ち組化/競争力低下	サプライチェーン混乱
小売	反発/大幅下落	回復/長期低迷	輸入消費財価格
資本財・建設	反発/下落	勝ち組化/需要減	輸入部材コスト

注視すべき主要変数

各シナリオの蓋然性を見極め、情勢の変化を早期に察知するための重要な指標です。

経済指標

CPI/PPI、ISM製造業指数、雇用統計、貿易統計の動向を注視

政治・外交

米中協議の進展、主要同盟国との交渉、IEEPAを巡る司法判断

戦略的対応

企業のサプライチェーン再編、投資家の選別的アプローチ



総合的考察と戦略的インプリケーション

トランプ関税は世界が数十年にわたり享受してきたグローバリゼーションの潮流を逆転させる構造的な転換点となる可能性が高いです。

構造的変化の不可逆性

地政学リスクを経済活動の恒常的な前提条件とする新たな時代への転換

中間シナリオの蓋然性

限定的な交渉妥結と一部関税緩和、しかし根本的な貿易摩擦は継続

戦略的対応の必要性

企業はリショアリング検討、投資家は選別的アプローチが必要

今回のトランプ関税は市場を一時的に揺るがす「ノイズ」ではなく、競争のルールそのものを変え得る「ゲームチェンジャー」として捉え、長期的な視点に基づいた冷静な判断を下すことが肝要です。

